

第48回 産業まつり

8月23日(日)、浅江島公園と市民文化センターで「もち米日本一フェスタ 第48回なよろ産業まつり」が開催され、家族連れをはじめ多くの来場者でにぎわいました。

会場には、農畜産物をはじめとするさまざまな売店が並び、伊勢名物の「赤福」「赤福氷」や岡山名物の「元祖きびだんご」も販売されました。「赤福氷」の販売を待つ来場者からは「毎年楽しみにしている」との声も聞かれ、長い列ができるほどの人気を集めました。

恒例の「もちまき」は2回行われ、空高く舞う餅をつかもうと、大人も子どもも夢中になって手を伸ばしました。

もちつき体験では、子どもたちが力いっぱいきねを振り下ろし、一緒にもちつきをした子どもには「キッズ1日もち大使」の認定証が贈られました。

このほか、左官体験などの職業体験も行われ、子どもたちは楽しみながら仕事の魅力に触れました。



地域おこし協力隊 辞令交付式

地域おこし協力隊に新たな仲間が加入！

8月3日(月)、名寄庁舎で地域おこし協力隊の辞令交付式が行われ、Spivak Deena (スピヴァク・ディーナ) さんが新たな隊員に就任しました。

ディーナさんは、令和3年11月から令和8年7月まで名寄市教育委員会のALT(外国語指導助手)として勤務し、市内の子どもたちの英語教育に携わってきました。今後は地域おこし協力隊員として、引き続き教育分野で活動します。

加藤市長は「ディーナさんには、子どもたちの心をわしづかみにする力があります。その力を生かし、これからも名寄市の子どもたちの教育に力を注いでほしい」と期待を寄せました。

ディーナさんは「私は名寄市が大好きです。子どもたちも英語を一生懸命頑張っていて、その気持ちに応えたいと思いました。これからも子どもたちと一緒に頑張っていきたいです」と抱負を語りました。

これまでの経験を生かし、新たな一步を踏み出したディーナさんの今後の活躍が期待されます。



南小学校授業見学

加藤市長と岸教育長が南小学校を訪問

8月31日(月)、加藤剛士市長と岸小夜子教育長による学校訪問が、名寄南小学校で行われました。

学校の取組について説明を受けた後、1年生から順に各学年の授業を見学。5年生の算数では、児童たちがグループに分かれ、互いに意見を出し合いながら学ぶ様子を見守りました。



最後には、6年生と一緒に給食を囲み、会話をしながら交流を深めました。

